

ダイバーシティ事業 PI養成事前調査プログラム  
報告書

報告日：2019年3月29日

派遣者所属名	海事科学研究科
派遣者氏名	山地 一代
<p>北極域を取り囲む、欧州～アジア、アジア～北米～欧州を対象とした大気汚染物質や気候影響大気物質の輸送に関する、欧州・日本の共同研究の可能性を調査した。</p> <p>Stockholm University Dr. Sannelと共同研究者らが北半球高緯度地域にて現地調査を行なっている、永久凍土における泥炭起源のメタンフラックス、炭素フラックス、さらに、炭素循環に関する情報収集を行なった。また、彼らが注目する、中・長期的な気候変動に伴う放出量の変化とその気候へのフィードバックに関する研究について、情報収集を行なった。複数地点の観測データや欧州にて展開されているデータベースネットワークを紹介して頂き、神戸大学にて実施している大気物質輸送モデルシミュレーションへの反映の可能性、また、その新規性に関する議論を行なった。</p> <p>さらに、過去の大規模火山噴火起源の放出物質の半球～全球スケールの輸送や大気中の物質濃度への影響、さらに、気候変動への影響に関して、北欧・アジア（日本）の火山を対象とする研究を新たに始めるための準備調査を行なった。過去から現在、さらに、将来の気候変動に伴う半球スケールの物質輸送パターンの変化やその影響への発展的研究の可能性を調査した。</p>	